

平成17年度 企業における化学物質管理とリスクコミュニケーションに関する表彰 実施要領

(社)環境情報科学センター

1. 趣旨

PRTR制度は、事業者が自ら化学物質の排出に係わる環境負荷を把握し、管理の促進を行うとともに、その状況に関して市民の理解を得ることを目的としています。本表彰は、法の趣旨を理解し、率先して化学物質管理を行うとともに、その実施状況に関して積極的に市民の理解を得るためのリスクコミュニケーションを行う等により優れた成果をあげている企業を表彰することによって、以下の3点に資することを目的としています。

- ・ 企業の積極的な化学物質管理を促進すること
- ・ 企業の化学物質の管理に関する市民の理解を得る活動を奨励すること
- ・ 一般市民のPRTR制度に対する理解の促進を図ること

2. 実施体制

(1) 主催・後援

主催：(社)環境情報科学センター

後援：(社)日本化学会、(社)日本水環境学会、(社)大気環境学会、(財)世界自然保護基金ジャパン、
(株)化学工業日報社、日経エコロジー、日経 BP 環境経営フォーラム（順不同）

(2) 選考委員会

- 委員長 安井 至（国際連合大学）
委員 有田芳子（元全国消費者団体連絡会）
北野 大（淑徳大学国際コミュニケーション学部；日本化学会推薦）
中地重晴（環境監視研究所）
福井弘道（慶應義塾大学総合政策学部）
村田幸雄（世界自然保護基金ジャパン）
亀屋隆志（横浜国立大学大学院）
神保重紀（日経エコロジー）
織田島 修（化学工業日報社）

3. 表彰の種類

PRTR大賞（1件）



化学物質管理・リスクコミュニケーションを積極的に実施し、かつ優れた成果を挙げ、他の規範となる事業所/企業に対する表彰

PRTR優秀賞（5件程度）



化学物質管理・リスクコミュニケーションについて積極的に努力している事業所/企業に対する表彰

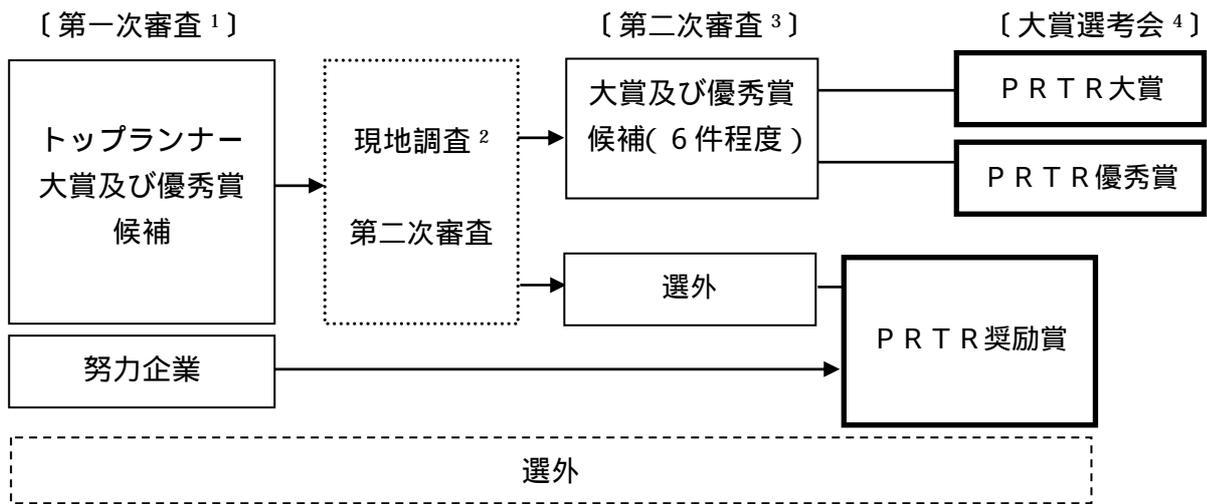
PRTR奨励賞（5～10件程度）



化学物質管理・リスクコミュニケーションについて今後の努力を奨励する事業所/企業に対する表彰

4. 選考の流れ

募集	募集の公告 (平成17年7月1日～9月12日)
第一次審査	(社)環境情報科学センターに設置した選考委員会による審査 (平成17年10月)
第二次審査	事務局による現地調査後、選考委員会による審査 (平成17年12月)
大賞選考会 表彰式	一般投票と選考委員の審査による大賞選考会および表彰式の開催 (平成18年1月28日予定)



- 1) 応募書類(様式1、2、3)をもとに選考委員会による第一次審査を行い、現地調査の対象を選定
- 2) 第一次審査の結果に基づき、現地調査(ヒアリング)を実施
- 3) 現地調査の結果をもとに第二次審査を行い、PRTR 大賞・優秀賞候補(6件程度)及び奨励賞受賞者(5～10件程度)を選定
- 4) 一般参加者も含めた大賞選考会と表彰式を開催。PRTR 大賞・優秀賞候補者による取組み内容の口頭発表をもとに、一般参加者による投票および選考委員による審査を行い、大賞および優勝賞の受賞者を決定

5. 審査の方針

(1) 評価対象とする期間について

評価対象期間は過去3年間の実績とする。また、現時点の仕組みや活動実績だけでなくその形成過程も評価の範囲に含めるため、それ以前の活動についても過去3年間の実績と継続性があれば評価の対象とする。

(2) 応募資格について

平成15～17年度(平成14～16年度排出)にPRTRの届出を行った企業(全社または事業所)
PRTRの届出制度は平成14年度に開始されているが、評価対象期間は過去3年間とするため、平成15～17年度のいずれかの年度でPRTRの届出を行った企業であることを条件とする。

全社または事業所の単位で募集

PRTRの届出は事業所の単位で行われるが、化学物質管理やリスクコミュニケーションは全社的に行われる場合も想定されるため、全社または事業所の単位で応募可能とする。
平成16年度応募者も、大賞受賞者を除き、再応募できる。

(3) 応募方法について

応募書類(様式1、2、3)を(社)環境情報科学センターのPRTR大賞ホームページからダウンロードして必要事項を記載のうえ、平成17年9月12日(月)までに事務局宛に郵送すること。推薦がある場合は、推薦状の用紙を同様にダウンロードして必要事項を記載のうえ、事務局宛に郵送すること。
詳細は募集要項を参照。

〔応募書類〕	様式 1 (応募申込書)	ハードコピー 及び 電子ファイル (1部)
	様式 2 (調査票)	ハードコピー 及び 電子ファイル (1部)
	様式 3 (応募原稿)	ハードコピー 及び 電子ファイル (1部)
	添付する資料	ハードコピーのみ (各2部)

〔推薦がある場合〕 推薦状 ハードコピーのみ (1部)

〔ダウンロード〕 <http://www.ceis.or.jp/hyosho/index.html> (PRTR 大賞ホームページ)

〔募集期間〕 平成17年7月1日(金)～9月12日(月) 消印有効

〔送付先〕 〒102-0081 東京都千代田区四番町 8-19 番町ポンピアンビル
(社)環境情報科学センター PRTR 大賞事務局

(4) 評価方針について

仕組みとその活動実績を評価する

化学物質管理には、化学物質の排出量削減のための設備の充実や、排出量削減の技術開発などハード面の対策と、化学物質管理体制の組織的な整備や、化学物質管理に関する従業員への指導、地域住民とのコミュニケーションなどソフト面における取組が考えられる。本来、ハード・ソフトの両面において、効果的な化学物質の管理を評価することが理想であるが、現時点では、具体的にどのような管理設備や削減技術が優れているか、定量的、技術的に判断するための根拠となる情報が不足している。そのため、当面はソフト面の取組(仕組みとその活動実績)について定性的に評価を行うこととし、ハード面の対策等に関する評価については、今後の課題とする。

また、過年度の排出量の差を求めることにより、化学物質の排出量が削減されていると評価することも可能であるが、排出量の算出方法の変更や、生産量や事業規模の拡大・縮小など、化学物質の管理対策とは別の要因によって排出量が増減しているケースも考えられる。そのため本表彰制度では、PRTR届出排出量が増加している場合でも、その理由が十分に説明され、対策やリスクコミュニケーションが行われている場合は評価の対象とすることにした。

特に優れた成果をあげた企業と積極的な努力が見られた企業を表彰する

化学物質管理またはリスクコミュニケーションにおいて既の実績のある企業で、特に優れた成果をあげている企業(トップランナー)について、その率先した取組を評価し、他の模範としての活動の継続を奨励することは重要である。同時に、これまでは化学物質管理の体制が整っていなかったり、リスクコミュニケーションを行っていなかった企業についても、積極的な努力により顕著な改善がみられる場合には、その努力を評価することも重要である。本表彰制度では、「PRTR大賞」、「PRTR優秀賞」、「PRTR奨励賞」を設け、特に優れた成果をあげているトップランナー的な企業と積極的な努力をした企業をそれぞれ表彰し、さらなる努力を奨励することとする。

(5) 評価項目

化学物質管理

1. 化学物質管理の方針

例) リスク評価に基づき環境リスク管理を行う、マテリアルフローを把握し LCA 的な観点から化学物質管理を行う、など

2. 組織的な化学物質管理の体制

例) 管理組織の設置、経営トップの関与、管理及び判定責任者の存在、PDCA サイクルの存在、従業員教育、など

3. 化学物質管理の仕組み

例) イン트라ネットなど管理システムの構築、原材料の選定方法、管理マニュアルの作成、管理方法の現場への伝達、社内への反映の仕組み、PDCA サイクルの存在、など

4. 化学物質管理の状況

例) 化学物質管理計画の有無、自社の PRTR データの解析、排出量の増減理由の説明、同業他社との比較、地域における位置づけ

5. リスク管理への対応状況

例) リスク評価の有無、リスク管理の仕組みの有無、リスク評価結果の反映、対策などの実績評価、など

リスクコミュニケーション

6. 化学物質に関するコミュニケーションの体制

例) 問い合わせ窓口の設置、トップへの連絡体制、現場への連絡体制、対応体制、対応マニュアル、Q&A の作成、など

7. 化学物質に関する情報の公開

例) 環境報告書、サイトレポート、ホームページなどでの PRTR データの公表、削減目標の公表、など

8. コミュニケーションの実績

例) 行政や自治会への説明会、住民説明会の開催、工場見学やフェスティバルの開催、リスクコミュニケーションの開催、など

9. コミュニケーションの結果(意見)の反映

例) コミュニケーションにより得られた意見を反映する仕組みの有無、内部での検討、具体的な対応事例(情報の公開、化学物質の管理方法や操業形態の変更、さらなるコミュニケーションの実施)、など

10. 地域との協働

例) 地域住民・行政等との協働による環境保全活動、地域住民・行政等とのネットワークづくり、ボランティア活動、など

11. 今後のリスキミに関する取組みの考え・課題など

6. 実施方法

(1) 公告について

化学工業日報社、日経エコロジー、記者クラブ投げ込み、企業へのDM、など
(社)環境情報科学センターホームページ、EIC ネット、その他関連ウェブサイト
業界団体、自治体 PRTR 窓口などへの案内

(2) 現地調査について

事務局による現地調査(ヒアリング)を実施する
選考委員も可能な範囲で同行する

(3) 結果の公表について

第一次審査の結果を書面で通知 (10月中)
第二次審査の結果を書面で通知 (12月中)
(社)環境情報科学センターホームページ、機関誌、その他マスコミ各社で発表

(4) 大賞選考会および表彰式について

平成18年1月28日(土)開催予定
PRTR 大賞・優秀賞候補者による取組み内容の口頭発表をもとに、一般参加者による投票および選考委員による審査を行い、大賞および優勝賞の受賞者を決定
大賞・優秀賞・奨励賞の表彰

(5) ロゴの使用について

PRTR 大賞、優秀賞、奨励賞の受賞者に対し、それぞれの平成17年度版ロゴの使用を認める。使用規定は別に定める。

(6) 提出された資料などの扱いについて

選定委員会及び関係者は、選定のために知り得た情報、資料等の内容を、選定の目的以外に使用してはならないものとする。賞の確定後は、受賞者の了解が得られた範囲内で扱うものとする。

7. 問い合わせ先

(社)環境情報科学センター PRTR大賞事務局 担当:磯部 〒102-0081 東京都千代田区四番町 8-19 番町ポンピアンビル Tel:03-3265-4000 Fax:03-3234-5407 E-mail:hyosho@ceis.or.jp
--